



平成29年10月26日

各 位

会 社 名 東海旅客鉄道株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 柘植 康英
(コード番号 9022 東証、名証各第1部)
問 合 せ 先 執行役員広報部長 丹羽 俊介
(TEL. 052 - 564 - 2549)

子会社における業績予想と実績値との差異等に関するお知らせ

当社の連結子会社である日本車輛製造株式会社が、業績予想と実績値との差異等を公表しましたので、別添のとおりお知らせいたします。

なお、これに伴う当社の連結業績への影響は軽微であります。

以 上



平成29年10月26日

各 位

会社名 日本車輛製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 五十嵐 一弘
(コード：7102 東証、名証第1部)
問合せ先 執行役員総務部長 垣屋 誠
(TEL 052 - 882 - 3316)

平成30年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年7月25日に公表しました平成30年3月期第2四半期（累計）の業績予想につきまして、本日発表の実績値との間に差異が生じたほか、通期の業績予想については下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想と実績値との差異 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 連結四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,000	△ 2,000	△ 1,800	1,600	11.08
実績値(B)	45,183	2,509	2,604	8,733	60.50
増減額(B-A)	1,183	4,509	4,404	7,133	—
増減率(%)	2.7	—	—	445.8	—
(参考) 前期第2四半期連結実績 (平成29年3月期第2四半期)	50,930	△ 4,403	△ 4,022	△ 4,169	△ 28.88

2. 差異の発生理由

連結売上高は、国内各事業が堅調に推移したため、増加しました。

連結営業利益及び連結経常利益は、国内各事業の売上の増加や原価の低減が進捗したことに加え、第2四半期業績予想に織込んでいた海外事業における業績低迷リスクが想定よりも抑えられたため、増加しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記に加えて、親会社への工場資産の譲渡について業績予想時点では課税される可能性を踏まえた数値としておりましたが、第2四半期決算においては、その税務処理が確定していないため課税されない形で決算したことから増加しました。

3. 平成30年3月期通期の連結業績予想値の修正
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	89,000	△ 3,300	△ 2,900	900	6.23
今回修正予想(B)	93,000	△ 3,300	△ 2,900	900	6.23
増減額(B-A)	4,000	0	0	0	—
増減率(%)	4.5	—	—	0.0	—
(参考) 前期連結実績 (平成29年3月期)	101,093	△ 5,104	△ 5,149	△ 5,124	△ 35.50

(参考) 平成30年3月期通期の個別業績予想値の修正 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	83,000	△ 3,100	700	4.85
今回修正予想(B)	87,000	△ 3,100	700	4.85
増減額(B-A)	4,000	0	0	—
増減率(%)	4.8	—	0.0	—
(参考) 前期個別実績 (平成29年3月期)	90,485	△ 5,230	△ 5,083	△ 35.21

4. 修正の理由

通期業績は、連結・個別ともに、売上高は第2四半期の差異理由のとおり国内各事業が堅調に推移しているため、増加する見通しです。利益につきましては海外事業における業績低迷リスクを引き続き織込むことから、前回予想値を据え置きます。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の決算とは異なる可能性があります。

以 上